

阿賀野川
aganogawa E-toko dayori

ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。

第29号

2019.11.2

え～とこだより

「阿賀野川の支流・実(さね)川の、紅葉に彩られた渓谷」場所:実川渓谷(阿賀町豊実)

もくじ

- 特集1 阿賀流域再発見・連続ツアー講座レポート
- 特集2 第2回水びたしの大地との闘い
- 特集3 明治・大正・昭和の日本・近代産業をめぐる光と影
- 特集4 &事前オプショナルツアー
令和元年度バネル巡回展
- 特集5 阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム(第9回)

阿賀上流域と下流域のつながりの「学び直し」を目指して

下流域の水との闘い、上流域の近代産業から阿賀流域の光と影を学ぶ

このたびは、令和元年台風第19号に伴う災害により、阿賀野川上流域などで被害を受けられました。皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。被災された地域の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

今年度3回にわたって開催された「阿賀流域再発見・連続ツアー講座」でも下流域の平野部における「水との闘い」の壮絶な歴史を、様々な現場を巡つて関係者の方々のお話を聞く中から学びました。今後も関係者の方々のご尽力により、環境の整備が図られていくものと思われます。

このように、阿賀下流域の水の行方を学び直せば直すほど、その水源たる上流の山々へも自然と想像が広がります。かつては鉱山や化学工場など様々近代産業が盛んだった土地でもあるため、その光と影も含めて関心をお持ちの方は、今号お知らせする流域再生フォーラムの事前オプショナルツアーとして催行する「三川鉱山・草倉銅山めぐり」にお申し込みいただければ幸いです。

環境と人間のふれあい館主催イベント 水俣病講演会

イベント

ユージン・スミス
水俣に捧げた写真家の1100日

水俣病を世界に伝えた米国人写真家の故ユージン・スミスさんをモデルにした映画の制作が、ハリウッド俳優のジョニー・デップさん主演で進められ関心が高まる中、スミスさんの評伝を著したノンフィクション作家の方や、「もやい直し」に取り組む熊本の被害者の方を講師にお招きして、下記講演会を開催します。

日程 2019年11月24日(日)13:30 ~ 16:00(受付13:00 ~)

同時講演
正直に生きる

講師・緒方正実氏
(水俣市立水俣病資料館語り部)

水俣病写真・パネル展
協力:新潟県立水俣病資料館、飯塚克哉氏、椎野青人氏
展示 11月17日(日)~12月1日(日)
9:30 ~ 16:30 (月曜休館)

会場 新潟県立環境と人間のふれあい館 新潟水俣病資料館 -



お問い合わせ
住所 新潟市北区前新田字新々田乙 364-7
TEL 025-387-1450 / FAX 025-387-1451
メール fureai@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ URL http://www.fureaikan.net/



くぼやままさこ [HUNKA]

し、一昨年に『みな、やつの思いで坂をのぼる—水俣病患者相談のいま』を出版した永野三智氏をお招きし、被害者の方々との対話でどのような言葉を耳にし、どのような「今」が浮き彫りとなったのかについてお話しいただきます。併せて、新潟県立大学教授の堀江薰氏(学会員)による「地域に学ぶ法律学」の招聘発表も行います。

日程 2019年11月30日(土)14:00~16:30(開場13:30~)

会場 新潟県立大学1号館A棟1313講義室
(住所:新潟市東区海老ヶ瀬471)※正門よりお入りください

主催 國際地域研究学会(新潟県立大学)

参加方法 定員に限りがあるため、下記担当まで事前連絡が必要
(担当:小澤薰 ☎025-270-1189 ✉ozawak@unii.ac.jp)

入場
無料

第21回 新潟水俣環境賞作文コンクール



の作品を募集します!

募集 2019年10月1日~2020年3月30日
発表 2020年6月



▲第20回表彰式(写真提供:新潟水俣病共闘会議・有田純也氏)



お問い合わせ先 ●新潟水俣病被害者の会 TEL025-281-2466 / FAX025-281-8101
(作文の送付先 ●〒950-0965 新潟市中央区新光町6-2 勤労福祉会館3階 新潟水俣病被害者の会)



「阿賀野川え～とこだプロジェクト」とは?

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川え～とこだ!憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第29号はいかがでしたでしょうか?

今号はイベントなどのお知らせが満載で、毎号掲載している「阿賀の宝もん★発掘レポート」をお休みしましたが、次号からは再開します!毎年度3月に開催している流域再生フォーラムでは、今回初めて事前オブショナルツアーを開催しますので、多数のご応募を心よりお待ちしております☆

2月発行予定の次号もご期待ください!



今号表紙の写真「紅葉の実川」

水量豊富な阿賀野川に流れ込む大小さまざまな支流。の中でも、最上流にブナの原生林が広がる支流・実川では、清らかで豊かな水が阿賀野川にもたらしています。写真は、紅葉で美しく彩られた実川の渓谷を撮影した一枚。

阿賀野川え～とこだより 第29号

発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2019年11月2日
企画編集:一般社団法人あがのがわ環境学舎(〒959-2221 新潟市保田3866-1)

TEL.&FAX. 0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川え～とこだ!流域通信
<https://aganogawa.info/>



第2回
座学 9/7(土) 10:50
ツア 9/8(日) 9:10

視察スポット一覧



2日目(9/8)ツアー



今回は河川工事と農業土木の歴史!

主に、国土交通省北陸地方整備局の阿賀野川河川事務所さんや、新潟県新発田地域振興局の農村整備部さんにご協力いただきながら、阿賀下流域を巡りました。

水の駅「ビューフ島潟」事務局長 佐藤安男氏

今回もバス内のガイドを担当して、阿賀流域の自然などを解説していただきました。

1日目の豪華な粗食会



参加者の主な感想等

- 先人のたゆまぬ努力が現在につながっている。普段の景色にすごい歴史が秘められていた。(東区・50代)
- 今回の食事も美味で労作でした。見事なコラボで阿賀野川名産オンパレードですね。(中央区・70代)
- 新井郷川排水機場の重要性がわかった。流れ着くゴミの多さにびっくり、川はきれいに。(北区・60代)
- 木津切れが阿賀野川大改修につながった。満願寺閘門・小阿賀樋門の重要さを認識!(中央区・70代)
- 頭首工を間近に見学して、川の力を感じた。田畠をうるおす阿賀野川の水に感謝。(江南区・60代)
- 安野川は長期間にわたる大変な工事だと思うが、安全・安心のためには必要だと感じた。(北区・70代)

阿賀野川
えとこだ
プロジェクト X 阿賀野川
エコ
ニューシアム

大型バス2台でめぐる!



2019 阿賀流域再発見・連続ツアー講座「阿賀野川ものがたり」

主催●新潟県 共催●新潟市 後援●五泉市・阿賀野市・阿賀町 協力●水の駅「ビューフ島潟」企画・運営●一般社団法人あがのくわ環境学舎

水との闘い 水の恵み

阿賀野川の築堤工事 (阿賀野市 大正後期～昭和初期 広田哲男氏提供)

第2回:水びたしの大地との闘い

日時:令和元年9月7日(土)&8日(日) 148名参加

場所:環境と人間のふれあい館&水の駅「ビューフ島潟」

阿賀流域の今昔、光と影を
一年かけて学び尽くす
壮大な連続ツアー
講座はじまる!

開催レポート!

*P2~3におけるクレジット表記のない写真はすべて山口冬人氏(IPS公益社団法人日本写真家協会会員)が撮影したものです。

阿賀流域の歴史や文化、光と影を
壮大なスケールで学ぶ講座を開催
阿賀流域の歴史や文化、光と影を流
域の皆さんから学んでいただくため
これまで毎年度開催してきた地域
再発見講座を今年度は「阿賀流域再
発見・連続ツアー講座」とスケールアッ
プさせ、年間テーマを決めて年3回・計
6日にわたりて開催しました。
今年度の年間テーマは「水との闘い・
水の恵み」。その第2回目となる「水び
たしの大地との闘い」をテーマとした
座学やツアーガーが、さる9月7日(土)・8
日(日)に開催され、9月としては記録
的な暑さとなる中、2日間でのべ148名
の皆さんからご参加いただきました。

※本連続ツアー講座はすでにすべての回が終了しています。

第1回 大河によって形成された大地

座学 7/6(土) 10:50 ツア 7/7(日) 9:10



▲坂東克彦氏所蔵

水びたしの大地との闘い

座学 9/7(土) 10:50 ツア 9/8(日) 9:10



▲佐藤安男氏撮影

水の恵みの今昔・その光と影

座学 10/26(土) 10:50 ツア 10/27(日) 9:10



▲市村正氏撮影



今回の豪華な粗食は、ゲータリング!

今回の豪華な粗食は、目にも鮮やかなゲータリ
ングを提供する「watago FOOD & ETHICAL」
さん(新潟市江南区亀田)にお願いしま
した。流域の旬の食材
をふんだんに使った、
お弁当やゲータリン
グ形式のランチ
を、お楽しみいた
だきました!

※料理の写真 (watago FOOD & ETHICAL 提供) はイメージです。

▶旧善村出身の天野さん(左) & 寺田さんのチーム
(写真: watago FOOD & ETHICAL 提供)

福島潟のほとりに立つ、2つの環境学習施設も協力!

今年度から、福島潟のほとりに拠点をかまえ、阿賀野川流域の水環境などにも詳しい2つの施設が会場となって、知識と経験が豊富なスタッフがツアーが行なわれます。



県立環境と人間のふれあい館
-新潟水俣病資料館-



水の公園福島潟
水の駅「ビューフ島潟」